

令和6年1月18日
北九州市環境局

報道機関各位

北九州市内海岸へのポリタンクの漂着について（第2報）

1月17日(水)に、本市若松区の海岸で計29個のポリタンクの漂着を確認、回収しました。また、昨年12月6日(水)に同海岸で回収したポリタンクの内容物の分析結果が出ましたので、下記のとおりお知らせいたします。

今後も季節風・海流の影響等により、本市海岸へのポリタンクの漂着が懸念されます。

本市では、北九州市危機管理マニュアル「危険物品等の大量漂着対策マニュアル」に従い、海岸線のパトロール等を行い、「市民の安全の確保」の取組を実施しています。

記

1 若松区北西部海岸へのポリタンクの漂着について

- (1) 回収日 令和6年1月17日(水) 計29個回収
- (2) 発見の経緯 本市環境局職員がパトロール中に発見
- (3) 回収物 これまでの漂着物と同形状、29個
(約20L、青23個、白5個、灰1個、)

※回収したポリタンクのうち、5個にハンゲル、3個に中国語、4個に英語の表記があった。

有害な液体は入っていなかった。

2 発見した場合の取扱い

漂着したポリタンクには有害な液体や物質が含まれているおそれがあります。これらの漂着物を発見した場合は、決して手を触れずに北九州市環境局産業廃棄物対策課まで(TEL:093-582-2177)ご連絡ください。



【漂着したポリタンク（令和6年1月17日）】

【今シーズンの漂着状況】

日付	漂着場所	漂着数 ()は内数					
		ハン グル	中国語	英語	日本語	不明	合計
12月6日 (水)	若松区 北西部海岸 岩屋海岸、逆水を中心に点在	4	2	2	2	17	27
	容器内に有害な液体を含むもの	(1)	(0)	(0)	(0)	(1)	(2)
12月8日 (金)	若松区 北西部海岸 ともろ海岸(市民通報)	2	0	0	0	2	4
	容器内に有害な液体を含むもの	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)
【今回】 1月17日 (水)	若松区 北西部海岸 岩屋海岸、逆水を中心に点在	5	3	4	0	17	29
	容器内に有害な液体を含むもの	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
累計		11	5	6	2	36	60
	容器内に有害な液体を含むもの	(2)	(0)	(0)	(0)	(1)	(3)

(参考) 過去のポリタンク漂着状況

年	漂着数	うち有害な液体含有数
平成20年2月～20年4月中旬頃	802個	81個
}	}	}
平成29年12月～30年4月上旬頃	162個	3個
平成30年12月～31年4月中旬頃	192個	29個
令和元年12月～2年4月中旬頃	127個	12個
令和2年12月～3年4月中旬頃	111個	10個
令和3年12月～4年4月中旬頃	196個	11個
令和4年12月～5年4月中旬頃	100個	2個

3 令和5年12月6日に漂着したポリタンクの内容物の分析結果について

■分析結果(分析機関:北九州市保健環境研究所)

pH(水素イオン濃度指数) ^{注1)}	4.0
塩化物イオン(g/L)	23
フッ化物イオン(g/L)	0.0013
臭化物イオン(g/L)	0.064
硝酸イオン(g/L)	0.0017
硫酸イオン(g/L)	2.5
その他の陰イオン(g/L) (亜硝酸イオン、リン酸イオン)	ND(定量下限値未満)
マンガン(mg/L)	0.013
亜鉛(mg/L)	0.017
モリブデン(mg/L)	0.008
鉄(mg/L)	0.18
その他の重金属類(mg/L) (カドミウム、鉛、ヒ素、セレン、クロム、銅、アンチモン、ウラン、ニッケル)	ND(定量下限値未満)

注1) pH値は、100倍希釈して測定した値。

※分析結果から、ポリタンクの主な内容物は海水等で希釈された酸性の液体であると考えられます。また、重金属類も確認されています。漂着したポリタンクを発見した場合は、決して手を触れずに、ご連絡ください。

<問い合わせ先>

環境局産業廃棄物対策課 電話：093-582-2177

産業廃棄物対策課長：村上、除草指導担当係長：村上